bias5へのログイン(ssh) とデータ転送(scp)

bias5へのログイン

bias5へのログインには、sshというコマンドを使用します。

コマンド:

ssh ユーザ名@ホスト名 または ssh -l ユーザ名 ホスト名

ネットワーク経由で別の計算機にログインします。

コマンド例) \$ ssh *username*@bias5.nibb.ac.jp 実行結果)

username@bias5.nibb.ac.jp's password:

Last login: xxx xxx xx xx:xx:xx 20xx from xxxxx.yyyy.zzz

[username@bias5-login ~]\$

ログアウト

bias5からログアウトするには、exit コマンドを使用します。

コマンド:

exit

ネットワーク経由でログインしていた計算機からログアウトします。

コマンド例) [username@bias5-login~]\$ exit

実行結果)

logout

Connection to bias5.nibb.ac.jp closed. ←接続が解除されたメッセージが出る。

ログインしてみましょう

•sshコマンドを使用して、実際にbias5ヘログインを行ってください。コマンドは以下のようになります。

ssh *username*@bias5.nibb.ac.jp

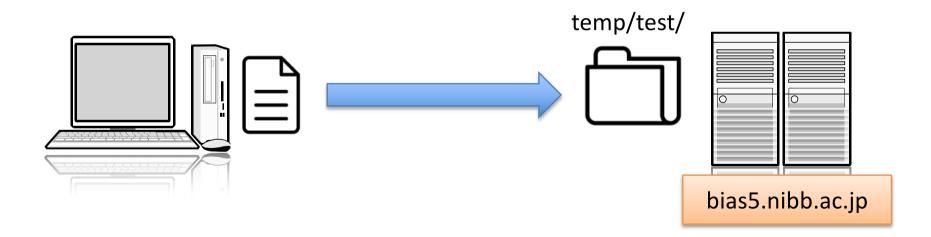
- "username"とそれに対応するパスワードは5/29ごろに連絡をいたします。ログインできない場合は事務局までご連絡ください。
- ■事前にVPN接続を行って頂く必要があります。VPN接続の使用については 別資料を参照してください。
- ログアウトするには以下のコマンドを使用してください。

exit

リモートファイルコピー (scp)

scp コピー元 コピー先

ネットワーク経由でファイルのやりとりを行います。 コピー元・先のいずれかにネットワーク上の場所を指定します。

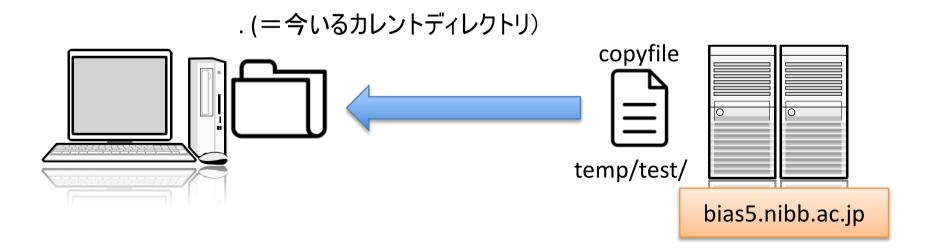


コピー先の指定: user@host:<where_to_copy_path>

例)\$ scp copyfile username@bias5.nibb.ac.jp:temp/test/

リモートファイルコピー (scp)

先ほどの例ではローカルからネットワーク上にファイルをコピーしました。逆に、ネットワーク上のファイルをローカルにコピーすることもscpコマンドで可能です。



コピー先の指定: user@host:<where_to_copy_path>

\$ scp username@bias5.nibb.ac.jp:temp/test/copyfile

ファイルを送りましょう

ローカルにあるファイルをbias5に送る(コピーする)には 以下のコマンドを用います。

scp path/filename
username@bias5.nibb.ac.jp:

この例では送る先がbias5のホームディレクトリになっています。

 送る先のパスを確認しつつ、ローカルからファイルを送りたい場合、 ターミナルの窓を2つ開けておくと良いでしょう。
 (1つはbias5にsshログインしたまま、もう1つはローカルを見る)

ファイルを取りましょう

先程とは逆に、bias5にあるファイルをローカルに取ってくる (コピーする)には、以下のコマンドを用います。

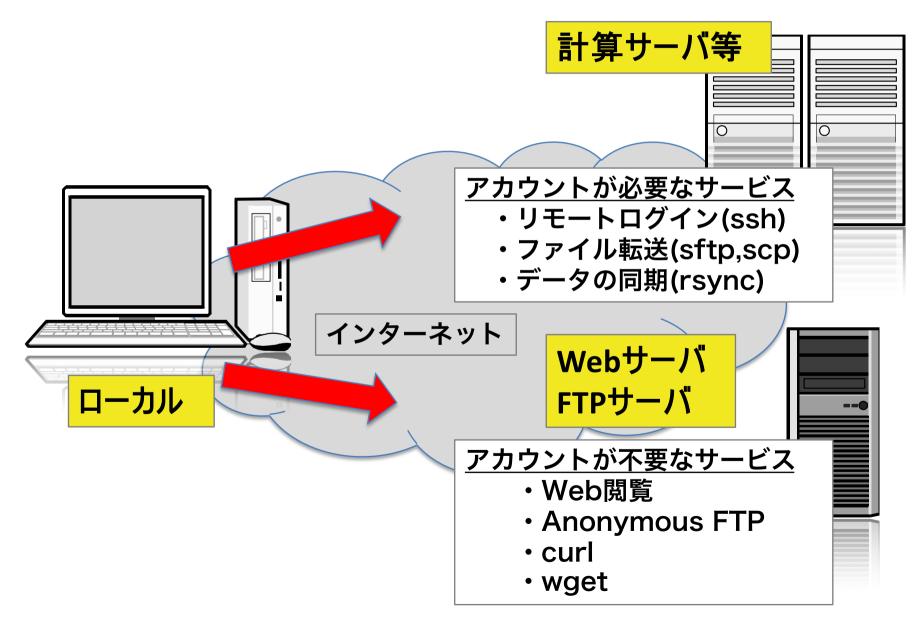
scp

username@bias5.nibb.ac.jp:path/filename.

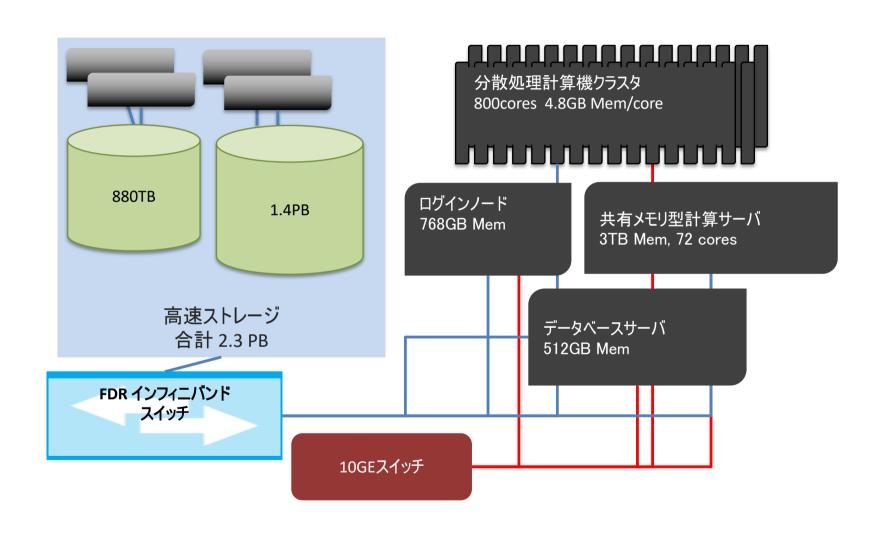
この例では、filenameというファイルを保存する先は、 このコマンドを実行したカレント・ディレクトリ(.)になっています。

bias5のパスを確認しつつ、ローカルへファイルを送りたい場合、 ターミナルの窓を2つ開けておくと良いでしょう。 (1つはbias5にsshログインしたまま、もう1つはローカルを見る)

ネットワークを介したサービス



生物情報解析システム (bias5)



分子生物学アプリケーション

- ・ほとんどのアプリケーションは、/bio/bin 内にあり、 どのマシンからでも同様に使用可能です。
- •/bio/bin への実行パスもログイン時に通っています。
- 必要なアプリケーションが有りましたらご相談下さい。 随時インストールします。
- ■詳細は生物情報解析システムwiki をご覧ください。 http://www.nibb.ac.jp/cproom/wiki/index.php